

3 報告

(1) 総務経済委員会報告

「国道125号バイパスについて」

副委員長 北出 攻



国道125号 バイパスについて

広域幹線道路を地域活性化に

国道125号大谷バイパス開通事業概要

事業個所：美浦村役場東交差点～稲敷市佐倉

計画延長：L = 2,600m

計画幅員：W = 25.0m
(4車線：両側歩道)

事業年度：平成7年度～

進捗状況

現在は姥神南T字路まで開通
延長 L = 2,060m



国道125号バイパス 開通状況 ①

村内全域開通 R4.11.30

国道125号大谷バイパス
(新根古屋橋付近)



大谷跨道橋 → 大谷中央交差点 → 姥神南T字路

国道125号バイパス開通状況 ②



開通式
大谷中央交差点まで
(H30.12.13)



国道125号 美浦阿見拡幅
【美浦村大谷～阿見町竹来】



国道125号バイパスの4車線化

国道125号 大谷バイパス
【稲敷市佐倉～美浦村大谷】



国道125号 美浦阿見拡幅

目的	阿見町及び美浦村における渋滞緩和及び安全な交通の確保
箇所	美浦村大谷～阿見町竹来
計画延長	L = 8.5km
計画幅員	W = 25m

国道125号 大谷バイパス

目的	稲敷市及び美浦村における渋滞緩和及び安全な交通の確保
箇所	稲敷市佐倉～美浦村大谷
計画延長	L = 2.6km
計画幅員	W = 25m

国道125号バイパスの4車線化工事の進捗

舟子(清明川城見橋付近)



郷中(ファミリーマート付近)



令和5年度の完成を目指し、現在4車線化工事中

地区計画制度を活かしたまちづくり ①

国道125号は、県南地域の経済振興を支える広域幹線道路

総合計画による将来像
(役場付近～大谷地区付近)

村の中心としての役割を担う地域

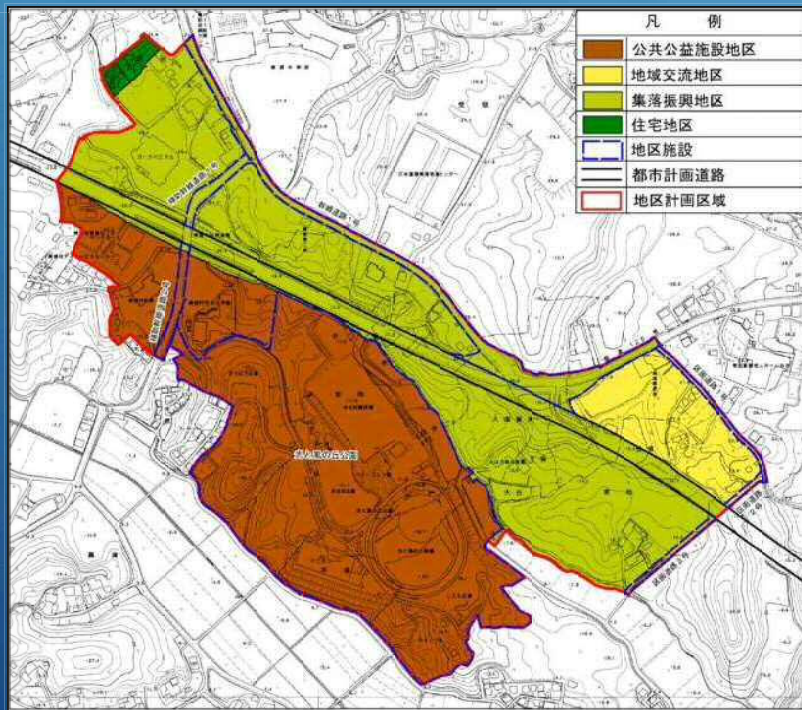
コンパクト・プラス・ネットワーク

地域の活力を維持しながら、医療・福祉・商業等の生活機能を確認し、それぞれの拠点を地域公共交通ネットワークで結ぶ、コンパクトで持続可能なまちづくり



地区計画制度を活かしたまちづくり ②

「役場周辺地区」地区計画



公共公益施設地区

公共公益施設としての土地利用

地域交流地区

生活利便機能、多様な交流機能の導入による交流拠点

集落振興地区

既存土地利用の維持、日常的な利便施設等の土地利用

住宅地区

良好な集落地としての環境を維持

地区計画制度を活かしたまちづくり ③ 「役場周辺地区」 地域交流地区・・・A地区

地域交流館
みほふれ愛プラザ



子育てひろば



地域産品直売所

カスミ美浦店



移動スーパー
(令和4年3月出発式)



地区計画制度を活かしたまちづくり ④ 「役場周辺地区」 地域交流地区・・・B地区



民間商業施設を誘致

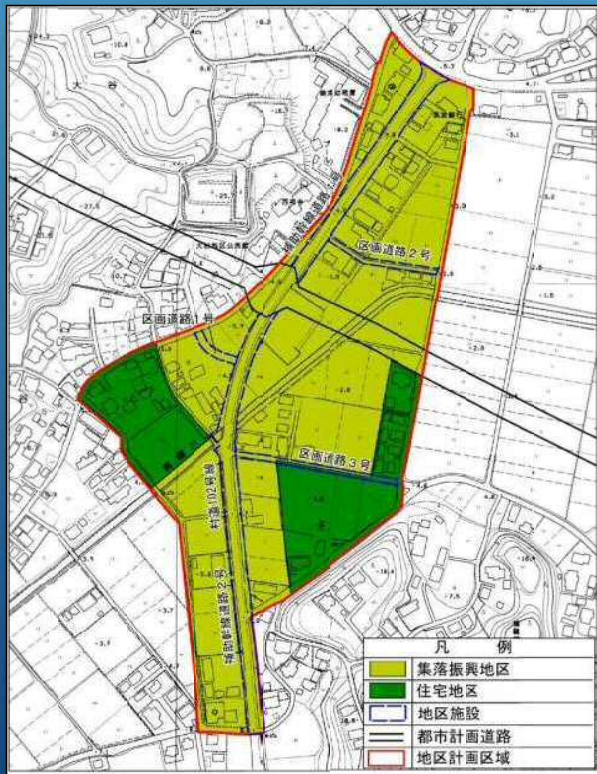
コロナ禍や
物価高騰
民間企業も
大変だね



2018.8月撮影

地区計画制度を活かしたまちづくり ⑤

「大谷周辺地区」地区計画



集落振興地区

既存土地利用の維持
日常的な便利施設等の土地利用

住宅地区

良好な集落地としての環境を維持



国道
125号
バイパス

大谷中央
交差点

JRA美浦
トレーニング
センター

稲敷市
・
稲敷 I C

交通量の増加！ 周辺地区の活性化が見込める！

幹線道路を活かしたまちづくり

計画中の幹線道路の整備

国道125号バイパス
から村道105号線
(通称：農免道路)を
通じて県道上新田木原
線、霞ヶ浦湖岸へ

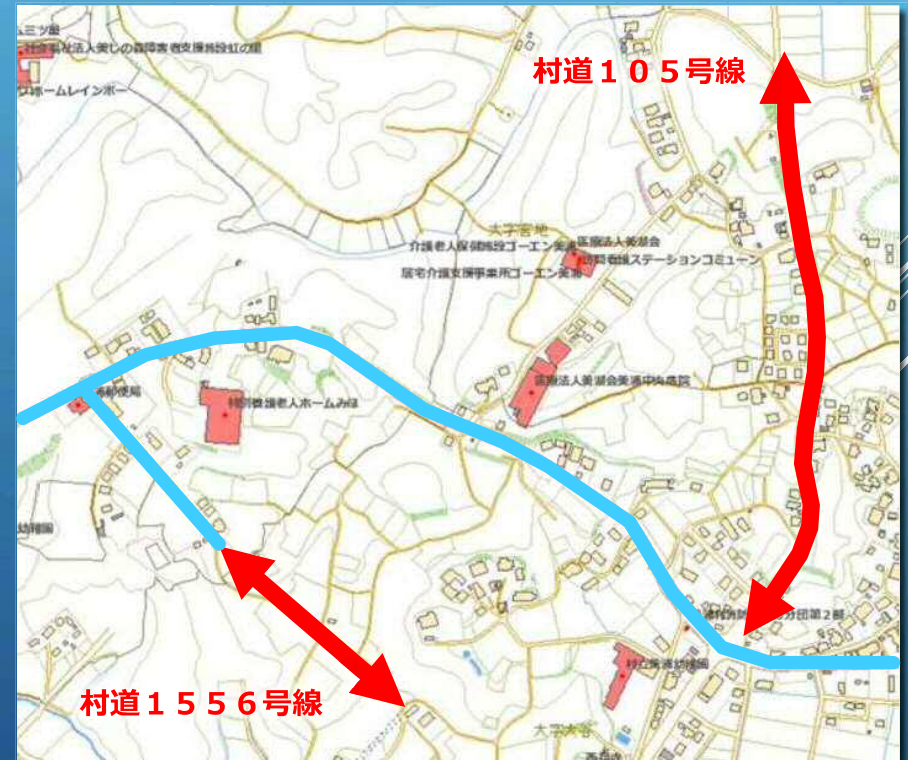


村道105号線整備



村道1556号線整備

役場周辺地区計画区域
の村道1556号線を
整備することにより周
辺区域の活性化に期待
が高まる



国道125号バイパスの整備を契機とした土地利用の可能性

